

森ただゆき議会報告

5

森ただゆき後援会通信
三郷市笹塚25番地
電話Fax048-952-4552
2002.10.1発行

<http://www.5d.biglobe.ne.jp/~tadayuki/>

平成 13 年度収納率抜粋

◇市税

| | |
|--------|------|
| ・個人市民税 | 96.6 |
| ・法人市民税 | 98.3 |
| ・固定資産税 | 96.6 |
| ・軽自動車税 | 94.1 |

◇国民健康保険税

88.74

9月定例議会が9月2日から24日にかけて10日間の会期で開催されました。本定例会には、一般会計補正予算11億605万円、国民健康保険、老人保健、公共下水道事業介護保険各補正予算、それに、平成13年度一般会計他、各種事業特別会計決算認定の議案、条例改正案、教育委員の人事案、それに請願2件等提案、承認されました。

平成13年度一般会計決算は346億1721万余で予算に対して1.4割の減額でした。ただ、収税出来なかった金額が22億5655万円もありました。国民健康保険の25億1301万、それに公共下水道、介護保険等の未納分合わせると48億6074万の未納額でした。いかに収納率を上げてゆくか大きな課題です。平成13年度までの滞納市税は総額約22億あります。

9月補正予算の主な事業

一般会計の補正予算の主なものは、吉川警察署裏に建設をしている「ふれあい交流館」完成に伴う運営費委託料、斎場拡張に伴う駐車場を確保するための整備費、借上げ料、番匠免に建設の排水機場の設計変更料、そして、早稲田中学校のテニスコートの改修工事費が主なものでした。又、インターA地区の区画整理組合に対し、事業推進のために貸付金1億を計上しました。

「第二大場川はこのままでよいのでしょうか」

私は、一般質問で、第二大場川の都市河川としての改修工事の必要性を訴えました。第二大場川は三郷市のほぼ中央に位置し、北は吉川市から南は三郷放水路までの全長6180mの一級河川です。吉川市から三郷放水路まで5730mが埼玉県管理です。なぜ今、改修が必要かと言いますと、現在、北は吉川市の駅南の区画整理があり、南に三郷団地、そしてインターA地区の区画整理、最南端はつくばエクスプレスによる区画整理事業が実施されており、全長の内、まちづくりに接していない区間がわずか5-600mに過ぎないからです。総合治水対策特定河川事業として、平成11年度より一部の区間はスタートしているのです。しかし、全体計画に対し三郷市は何ら計画案を持っていないのです。信じられない事です。悪臭漂う河川に成る前に全線に渡り整備計画案を作り、県、国に要望すべきと強く訴えました。水辺の空間を作れる河川は第二大場川しかありません。衆知を集め即整備案を作成すべきと思います。どうお考えでしょうか。

一般質問では三郷市全体の議論、質問は少なく大変残念に思います。



雑草が繁茂する三郷団地付近



三郷中央地区区画整理予定地

113ヶ年で固定資産税の15.6%負担

早稲田地区区画整理



整然と区画整理された街区

三郷市内で区画整理事業により街作りをしたのは、三郷駅の南北地区約200mの区域です。早稲田地区の区画整理は、武蔵野線の開通にあわせ始めました。石油ショック、バブル崩壊と時代の中で、この地域から納税される固定資産税は市税の内大きな位置を占めてきました。平成13年度の固定資産税に占める割合は、早稲田区画整理地区の課税固定資産税面積は131.3236m²で三郷市全体の面積の7.64%です。そこから納税される税金が、土地のみの固定資産税で6億3919万、割合で15.59%です。これに建物分の固定資産税を加算すれば、固定資産税歳入の20-25%を負担しているのではないのでしょうか。しかし、早稲田地区は、整備済みと言う事で街作りには再投資されません。もっと地域として要求してもよいのではないのでしょうか。ちなみに、文化会館、早稲田図書館、各地区会館は、区画整理の余剰金で建設され、税金は1円も使われていません。

9月定例議会 一般質問 一般質問の要約です。

1. 第二大場川の改修計画について

越谷土木事務所と十分調整をし目標に達するようにしたい。(市長)
新駅周辺については「水辺のシンボル軸」として協議し、下水処理場付近は県の改修計画の早期推進をしている。インター A 地区については、護岸形態等自然環境に配慮した調整をしている(建設部長)



親水河川としての整備を

2. インターA地区、中央地区のまちづくりについて

インター A 地区については財政の厳しい中、平成 14 年度 1 億円の融資をした。その他事業推進の取り得る方策の調査研究を担当課に指示した。組合員一丸と成った態勢を期待している。本格的な工事に際しては、効率的、有効的補助金を投入し支援してゆきたい。(市長)

中央地区のまちづくりコンセプトは、親水交流都市とし、駅前広場は親水性を持たせ、西側は安らぎのある芝で構成された公園とする。地区計画については、住宅の最低面積が 120 m²が適切と考えている。住宅取得者の需要に応じ適当と考えている。(都市整備部長)



工事が進む中央地区

3. 三郷団地の高齢者住宅改修計画について

今後 20 年間で 1126 戸改修計画している。その内、半数は市外からである。市外からの受け入れについては何らかの対策を講じたいと考えている。高齢者福祉計画との整合性、影響を最小限に抑える対応を取ってゆく。(市長)

平成 6-14 年にかけてバリアフリーについては、駐車場、階段等部分的な改修が賃貸部分で行われている。将来三郷団地でも松原団地の様な再生計画が討議されると考えている(企財部長)

4. 環境施設「エコドーム」の設置について

身近な所で出せるステーション回収を行っているので「エコドーム」の様な拠点回収の計画はないが、住民参加型のシステムが成熟した段階で検討して行きたい。(市長)

環境意識向上には、市内一斉清掃、ゴミカレンダーの配布、施設見学等を行っている。又環境推進員が 121 名いる。(環境経済部長)

「エコドーム」

一口メモ

現在、三郷市が行っているゴミ回収は、各地区にゴミ置き場を指定しそれを回収車で集めると言う「ステーション回収」と呼ばれるものです。資源ゴミも同じ方法です。「エコドーム」と言うのは、資源ゴミを一カ所の施設に市民の皆さん自ら持ち込む方式です。これを「拠点回収」と言います。ここでは、指導員のもと徹底的な分別をする施設です。愛知県の日進市では、わずかの金額で施設を作り、週末には 1200 名ほどの市民が訪れ、市全体の資源ゴミの 55% がこの施設で回収している実施例があります。この様な施設を小谷堀の最終処分場に作ってはと思っています。どうでしょうか。

◆市政勉強会開催する。

8 月 25 日、南蓮沼の円光院で初めての市政勉強会を開催しました。当日は 36 名の方に参加いただき、市政全般についての様々なご意見、要望を聞かせていただきました。ありがとうございます。今後も続けたいと思います。

◆議論の出来ない議会！

私は、一般質問の中で、区画整理事業に対し「区画整理はまちづくりです。」と。反対している某党の考えは違う趣旨の発言をしたら、固有名詞を使うことはけしからんと。日頃は与党を非難していますが自分の事は解らない様です。誹謗中傷はいけませんを受けて立つのが議会。先輩に聞くと固有名詞を使わないのが慣例になっているとの事。某党の何かと言えば民主的に民主的に言っている事はなんなのでしょうか。

行政視察

◆静岡プレ国体視察 8 月 7-8 日プレ国体のハンドボールが開催されている静岡市を視察してきました。国体関係の視察は、今年の宮城国体に次いで 2 度目です。

各会場とも国体に向け施設の大幅な改修工事がなされ、新築かと見間違うほどでした。

三郷市でも総合体育館の床、外壁の改修等又、運営に約 1 億 5000 万円掛かるとされています。

◆秋津小学校視察(個人で)

空き教室を地域の皆さんの活動の場として活用している習志野市の秋津小学校を個人的に視察しました。4 教室を 36 団体の皆さんが、昼間から利用していました。「学社融合」の取り組みを三郷市でもと思いました。